



品川区環境情報センター  
イベントカレンダー

●8月4(金)9:00~16:00

**今日は一日環境DAY!**

新しくなった施設をバスで見学!  
品川清掃工場  
ガスの科学館を回ります。

申込期間 7月1日(土)~7月10日(月)

定員:小学4年~6年生30名

受講料:無料

●8月11(金)14:00~16:00

**キッチンからはじめるエコロジー**

申込期間 7月11日(火)~7月21日(金)

定員:小学生30名(低学年は保護者同伴)

受講料:無料

●8月19日(土)9:30~12:00

**甦る流木の仲間たち**

申込期間 7月11日(火)~7月24日(月)

定員:20名

材料費・保険料:200円

●8月26日(土)14:00~16:00

**気象予報士と一緒に「地球温暖化」を考えよう**

申込期間 8月1日(火)~8月14日(月)

定員:小学4年生以上36名

受講料:無料

お申込みは、全て往復ハガキになります。定員を超えた場合は抽選になりますので御了承下さい。詳細については、今後の広報でご確認いただくか、センターまでお問合せ下さい。



編集後記

品川区環境情報活動センターは、区から委託を受けたNPO法人エコタウンしながわが、管理運営しています。「環境」の名のもとに、実に様々なメンバーが集まって、次のような活動をしております。

- 環境問題に関する情報の収集・提供、調査研究事業
- 品川区とのパートナーシップ事業
- 区内事業者の環境保全活動への支援事業
- 環境学習支援
- リサイクルショップ「リボン」の運営

地元品川の環境問題から、地球規模の環境問題まで、広範囲かつ複雑な問題に取り組んでいきます。私たちとともに活動していただける会員、及び賛助会員も広く募集中です。

環境情報活動センター事務局より

広く区民の方々に、まずは当センターを知っていただきたく、情報紙を創刊いたしました。「ECOだより」から、たくさんの面白くおもしろい情報発信していきたいと考えています。どうぞ、皆様がお持ちのエコ情報をセンターまでお寄せください。取材に伺います!

あなたの夢  
応援します!  
エコプロジェクトを  
お聞かせ下さい。

見上げた空がクリーンであるよう  
今できる 一粒の種をまこう



ECOだより

~品川区環境情報活動センターだより~

昨年10月、品川区環境情報活動センター  
(しながわeco) が誕生しました!

身近な自然・環境情報の収集・発信  
区民、企業、NPO等の連携と協働の活動拠点に  
環境改善・保全活動へのご支援  
それがしながわecoの設立目的です!

こんな活動しています

- 環境情報を発信します! HP: <http://www.shinagawa-eco.jp/> をご覧ください。皆様からの投稿も大募集中です。センター内に環境関連の図書・資料を取り揃え、皆様のご利用をお待ちしています。
- 環境学習講座を多数ご用意しています! 昨年実績は「親子でビオトープ」「指編みマフラー」「松ぼっくりのツリー」「古帯のおひなさま」...今後の予定については、4面イベントカレンダーをご覧ください。
- 環境活動のためのミーティングスペースを無料で提供しています! 会議室・36名収容 他
- 中小企業の環境経営をお手伝いします! 環境・省エネ診断(無料) 環境経営システムについてのコンサル



昨年11月開催「どんぐりカレンダーをつくらう」より。定員の5倍以上のお申込みを頂戴した人気講座です。見よこの出来ばえ! 今年ももちろん開講予定。



自然環境講座で講師をされている、どんぐりおじさんこと亀田勇二さん。優しく丁寧な指導に人気集中! 環境カウンセラー・森林インストラクターとして大活躍の毎日です。

発行	品川区 環境清掃事業部
編集人	特定非営利活動法人 エコタウンしながわ 事務局 青木久美子
発行日	平成18年2月20日 創刊号
住所	〒140-8715 品川区広町2-1-36 (防災センター3F)



- 電話/ FAX 03(5742)6533
- Email: center@shinagawa-eco.jp
- <http://www.shinagawa-eco.jp/>

目次

区民を支えるヒーローたち	2
事業者の方へ二つのお知らせ	2
競走馬となし畑	3
しながわ子どもの俳句	3
イベントカレンダー	4

私たちもしながわECOを利用しています



品川区民大学入門講座「あなた流エコライフの楽しみ方」~シンプルで快適な生活術~より。熱心に聴き入る区民の方々。こういった講座にも、どうぞ当センターをご利用ください。



伊藤先生の苔玉・盆栽教室が、3月から開講になります! 乞うご期待!

# 区民の生活を支えるヒーローたち

「おはようございます！」一軒一軒声をかけながらゴミを収集する彼ら。無駄な動きひとつなく、機敏。それでいて、区民の方に声をかけられると、立ち止まって笑顔で対応している様子。収集する二人と運転手の絶妙なチームワークも、ため息ものである。

各戸収集が区内全域で実施されるようになったのが昨年7月。「腰に加えて肩・手、と痛いところが増えました」とは収集の方のお言葉。写真のように、車の通れない路地道を駆け足でのぼり、ポリ容器のフタを開け、一つひとつゴミを集めていきます。両手に持つゴミ袋の数は、みるみる増えていきます。その重量と、反復動作が与える体への負荷を考えると、その苦労の程がわかります。

でも引き換えに、区民一人ひとりの方々との距離が近くなったようです。ゴミだしが楽になった、カラスの被害がなくなった、集積所へのポイ捨てがなくなった、といったことの他に、今回こんなお話を聞きました。「お年を召した方がお一人で住まわれているお宅については、ゴミが定期的に出ているか、さりげなくチェックしています。しばらく出ていない場合は、ノックして安否を確認するのです。」

まさに、区民の生活の基盤を支える彼らが、ヒーローのようにキラキラ輝いて見えたのでした。



## 事業主の方へ 二つのお知らせです

### 省エネ・環境経営診断をご利用ください！

オフィスや工場、店舗における省エネ環境経営のために、専門診断員が無料で「省エネ診断」を行い、改善案を提案します。

省エネは、効率の良い機械・条件・運転時間を満たすことが大切です。効果的な省エネ対策が行え、事業活動の中で消費比率の高い、空調・照明ジャンルをメインに、専門診断員がハード・ソフト両面から投資効果を含めた診断を行います。



### エコアクション21の認証取得を応援します！

エコアクション21認証・登録制度は、中小事業者等の幅広い事業者に対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度です。

中小企業等でも容易に取り組める環境経営システムであること（環境マネジメントシステム）、必要な環境への取組を規定していること（環境パフォーマンス評価）、環境コミュニケーションに取り組む必要があること（環境報告）を特色としています。

エコアクション21の構築・運用の指導（コンサルティング）を致します。（費用25万～40万円程度。）

# 競走馬となし畑



品川といえば？の問いに、10のうちに入るであろう、我らが**大井競馬場**。その裏手には72の厩舎があり、900頭もの馬たちが生活しています。生活しているのだから、お馬さんの落し物もあるわけで、1日出るフンの量はなんと約23t！実に年間で7,500tを超えるのです。

（株）増建さんが事業に取り掛かる7年前までは、悪臭・ハエの大発生など、近隣地域から多くの苦情が出ていたといえます。競馬組合から依頼を受けて立ち上がったのが、（株）増建の現会長増澤政信氏（写真）。当時まだ珍しかったEM菌（コンポストご利用の方は御存知ですね）に目をつけ、実験的に使ってみたところ、大成功！臭いを抑えられ、ハエの発生も防ぐことが出来たのでした。それでいて肥料としてのばふんの威力を低減させることなく、有効活用できるのです。現在は農協さんを通じて千葉の各農家に販売。ばふんを使った飼料は野菜・果実の肥料として利用されています。「梨」はこのほか甘く、大きくできあがるのだとか。

堆肥が土に還元され、おいしい果物（梨）ができる。**自然のものを自然に帰す**。これこそまさに、リサイクル。悪臭などをEM菌を利用して防ぐことで、**生活の質を落とさず、かつ地球にもストレスを与えない**。これこそまさにエコマインド。

華やかで感動的な競馬場の舞台は、ECO企業、（株）増建さんに支えられていることをお忘れなく。

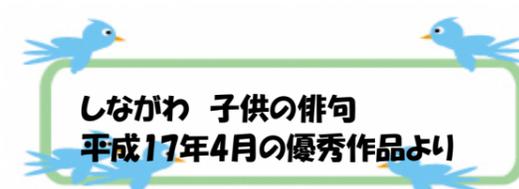
**EM (effective microorganisms) 菌ってなに？**  
乳酸菌や酵母菌、光合成細菌など80種もの善玉菌が含まれている、有用な微生物軍のことです。抗酸化・抗菌・抗ウイルス作用があるとされ、生ゴミを肥料に変えたり、排水・下水などをきれいにしたり、悪臭を消したりするのに用いられます。最近では、防腐剤等を使用せず、EM菌で腐敗を防いでいるドーナツなども市販されています。



「悪いことは簡単にできる。良いことをするのは難しい。悪いことしないで頑張らなきゃ。」笑顔に刻み込まれたしわに、その言葉の重さを実感したのでした。



鍛え上げられた競走馬の体はうっとりするほど美しく、その純粋な瞳に思わすうるう。と、背後から「馬の目は本当に綺麗だろー」と繰り返す調教師さんの声が。12頭の馬たちと一緒に生活する調教師さん、その愛情は一方ならぬようです。



ちょうちょうが  
キラキラとんで  
天使だね  
A butterfly  
Flying and shining  
Angel-like!  
Satoe Tanaka 6th grader  
大原小学校 六年  
田中 智恵

春の空  
見上げていると  
歌い出す  
Beginning to sing,  
Looking up into  
The spring sky.  
Hirofumi Kaneda 4th grader  
大原小学校 四年  
金田 寛史

品川区環境情報センター  
イベントカレンダー

- 8月2日(水) 「どんぐりのミニカー」と木の葉のアクセサリを作ろう♪  
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 8月4日(金) 今日は1日環境DAY!  
講師: 酒井康一  
(環境カウンセラー 元(株)ソニー社会環境部長)
- 8月9日(水) 廃油を使おうぞくをつくろう♪  
講師: 目野正彦(株)日本ハム)
- 8月11日(金) キッチンからはじめるエコロジー。  
地球に優しい旬の料理を作ろう!  
講師: 東京ガス エコクッキングインストラクター
- 8月19日(土) 甦る流木の仲間たち  
講師: 樋口金太郎(流木アーティスト)
- 8月21日(月) 小菊のミニ盆栽  
講師: 伊藤金美氏(園芸研究家)
- 8月23日(水) 牛乳パックを使って紙すきを試し  
「オリジナルはかき」を作ろう♪  
講師: 資源循環推進課議員
- 8月26日(土) 気象予報士と一緒に「地球温暖化」を考えよう!  
講師: 岩谷 忠幸氏(気象予報士)
- 8月30日(水) 不用品からアートな作品  
「コラージュミニ絵本」を作ろう♪  
講師: 竹中信子(アートディレクター)
- 9月16日(土) ヒートアイランド対策を「緑化」から考えよう  
講師: 石川健治(環境カウンセラー)
- 10月14日(土) ネイチャークラフト第一弾! 「どんぐりミニ図鑑」をつくろう  
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 10月21日(土) ネイチャークラフト第二弾! 「木の葉の動物」をつくろう  
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 10月25日(水) テーブルグリーン  
～食器や水盤等に草花を植えて室内で楽しもう～  
講師: 伊藤金美(園芸研究家)
- 10月28日(土) 端切れを使ったタペストリー  
講師: 高井徳子

詳しい実施内容については、環境情報活動センターHP (<http://www.shinagawa-eco.jp/>) よりご確認ください。お申込みもこちらから可能です。過去の講座のレポートなども掲載しております!



「今年早々と庭の紫陽花が咲きました!」という写真や「古着をリサイクルしてみたい」「こんなエコロジー生活しています」など、身近な環境情報を、携帯やEメール等で環境情報活動センターへお寄せください。

記者の方から提供していただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページや情報紙等に掲載させていただきます。



環境情報活動センター

品川区環境情報活動センターでは、上記のようにたくさんの環境講座をご用意しておりますが、講師の補助・お手伝いをしてくださるボランティアの方を大募集しております。まずはサポーターとしてご登録いただき、スケジュールの空いている日・ご希望の講座がある日にお手伝いください。お問合せは03-5742-6533までお気軽に。

エコ・サポーター  
募集中!!



見上げた空がクリーンであるよう  
今できる 一粒の種をまこう

ECOだより

～品川区環境情報活動センターだより～

しながわ生きもの  
データブック登録制度  
2006年8月1日スタート!

区内に生息する生物を、積極的に守り育てている方、「しながわ生き物データブック」に登録してみませんか? 取り組みを広く知ってもらい、地域で大切に目守っていきましょう。登録された生きもののリストと保護・活動の状況は、ホームページなどで公開していきます。是非お申込みください。



次ページで既に登録された生きものをご紹介します!!

発行 品川区  
環境清掃事業部  
編集人 特定非営利活動法人  
エコタウンしながわ  
事務局  
発行日 平成18年8月7日  
2006年夏号  
住所 〒140-8715  
品川区広町2-1-36  
(防災センター3F)  
●電話/ FAX  
03 (5742) 6533  
●Email: center@  
shinagawa-eco.jp  
●http://www.shinagawa-  
eco.jp/

生きものデータブックに関するお問合せ・お申込みはこちらへ

品川区環境清掃事業部  
環境課 調査担当  
TEL 5742-6753  
E-mail:  
kankyo@city.shinagawa.  
tokyo.jp

「しながわ生きものデータブック登録制度」は、品川区区内に生息する生物を保護・育成する区民の活動を支援し、広く区民の方に知っていただくことで、自然環境の保全や回復を目指すものです。「このような生きものはダメかな?」と考えてしまう前に、まずはお問合せください。

登録申込み方法

1. 代表者のお名前
  2. 代表者のご住所、ご連絡先
  3. 生きものの名称または分類
  4. 生育場所
  5. 現在の状況、取り組み内容
- どのような形式でも結構ですので、ご記入の上E-mailにてお送りください。登録が決まり次第、代表の方に連絡をいたします。

満を持して登録第一号となったのは、この美しいジャコウアゲハです!

地元住民・児童生徒を巻き込んで、チョウのレストラン(食草園)を作り、豊かな自然環境を取り戻そうと活動している団体を次ページでご紹介します。植物・昆虫・魚・・・生きものならなんでも大丈夫! 是非、あなたの保護する生き物をご紹介します。



登録NO. 1 ジャコウアゲハ(蝶)

## 登録された生きものと、保護活動をしている団体をご紹介します！！

- 申請者●  
勝島運河倶楽部
- 成育場所●  
しながわ花海道
- 取り組み内容●

「勝島運河倶楽部」では、「チョウの食草園創り」を昨年からの調査を踏まえ、2006年6月から開始しました。

現在、しながわ花海道、鮫浜小学校、浜川中学校、水神児童センター、大井第一小学校の協力を得て食草園の拡大を行っています。地元住民、児童生徒が一体となって活動しています。

とりあえず勝島運河に生息する、ジャコウアゲハの食草のウマノスズクサ。キアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハの食草を植えました。その後隔週に「食草園」の草を取り、発育状況を観察しています。現在順調に生育しています。また食草園を作ったあと、チョウと食草のチラシ類を作成し掲示してもらい子どもたちの関心を高めています。



これらは、少なくなりつつある自然環境を見つめ直すことをメインテーマに始めました。季節を感じ、子どもたちに本物の「命」を見せたいと思っています。

チョウやトンボが空に飛びたつ瞬間を見た子供たちはみな、「心」に感動を覚えます。『自然体験の豊富な子どもほど、正義感や道徳感を持ちえている』という報告(文部科学省)もあります。

秋からはチョウの成虫のための花壇作りを進行します。これにより「チョウの親子のレストラン」ができます。来夏から少しずつこれらの効果が出てくるものと思います。同時に、来年度に「プールのヤゴ救出作戦」を行うための調査を進行中。

将来の目標は「品川区ピオトープネットワークプロジェクト」です。興味のある方は、「勝島運河倶楽部」のホームページ<http://unga.dip.jp/unga/>「お問い合わせ」よりメールを入れてください。支援・カンパ大歓迎です。

写真全て  
Copyright (c) 2002~2006 by MUSHI-MEGANE LAB & minami-takahiko All Rights Reserved.

## 省エネ・環境経営診断をご利用ください！

オフィスや工場、店舗における省エネ環境経営のために、専門診断員が無料で「省エネ診断」を行い、改善案を提案します。

省エネは、効率の良い機械・条件・運転時間を満たすことが大切です。効果的な省エネ対策が行え、事業活動の中で消費比率の高い、空調・照明ジャンルをメインに、専門診断員がハード・ソフト両面から投資効果を含めた診断を行います。

お気軽にご相談ください



## 事業主の方へ



登録NO. 2 キアゲハ(蝶)



登録NO. 3 ナミアゲハ(蝶)



登録NO. 4 クロアゲハ(蝶)



登録NO. 5 ウマノスズクサ(植物)

## ヤゴ救出大作戦!! 戸越小学校のヤゴ☆レスキュー

6月12日(月)に戸越小学校で1・2年生の授業の一環として「ヤゴレスキュー」が行われました。

半ズボンの子、水着の子、半分はだかの子、先生の説明を聞いた後に「待ってました!」とばかりプールの中へ。毎年プール掃除の前に恒例となった戸越小学校の「ヤゴレスキュー」は2年生がプールに入ってヤゴを救出し、1年生はプールには入らずプールサイドで主事さんがプールからすくった落ち葉の中からヤゴを救出するかたち。

去年はプールサイドでヤゴレスキューをした2年生は、「1年生にヤゴをとってあげるんだ!」と張り切っていました。しかし、プールの水は緑色でヤゴは見えず、足元はツルツル、ヌルヌル……そんな状況にもすぐになれ、ひざまで水につかりながらも、ヤゴを探して大騒ぎ! プールの底をすくった網の中には、落ち葉がたくさん。その落ち葉をかき分けてみるとヤゴがいました。2年生がすくったヤゴは、ヤゴを探せなかった1年生へプレゼントされます。

もともと戸越公園の隣で環境の良い場所にある戸越小学校。「ヤゴレスキュー」は、自然の流れで取り組まれてきた授業の一つであるとのこと。

去年の2年生は教室で飼育していたヤゴを羽化させ、トンボになって旅立つ瞬間を「拍手」で見送ったのだそうです。自分たちが命を救ったという誇り、羽化の瞬間を見るという神秘的で貴重な体験。見送る時に自然にわいた拍手が、子ども達の心に何かを残した証拠です。



## 「俳句」を通して季節を感じる心を 養おう! ~大原小学校~

校長室といえば、奥まったところにあり、高級そうな応接セットがあって、「来賓」と呼ばれる方々が利用する子供には縁遠い場所……そんなイメージは完全に払拭! ピンクの椅子とあたたかな木のテーブル、そしてその部屋の前には手作りのポストが松ぼっくりや木の実たちと共に置かれています。

ここ大原小学校では、校長先生が校長室の掲示板に今月の季語を張り出し、生徒のみなさんがそれをもとに俳句を読む、という取り組みを行なっています。完成した句はポストに投函。翌月、校長先生がそれらを全て集めて金・銀・銅の賞を付した上で、校内に貼りだします。応募総数は月30~50句、多いときには100にもものぼるとのこと。先生にとっても大変な作業です。

「先生賞決まった?」と校長室に顔を出す子もいるとのこと。みんなときどきわくわくしながら、発表の瞬間を待っているのですね。

貼り出された季語を頭に置き、学校までの行き帰りや食卓・公園・友達とのおしゃべりの中など、普段のありふれた生活の中に、「一句生み出そ



夏の季語には、ラムネ・金魚売・蛸・蟹・源五郎・アスパラガス・栗の花・玉葱など多々あります。季語を知り、一つ俳句をつくってみよう、なんて思いながら辺りを見回せば、きっといつもと異なる世界が広がってくるはず。ちょっとだけ、心が豊かになった気がします。「環境」とは、まずは今ある愛しむべきものを正しく認識することからはじまるのかもしれない。

当センターホームページのトップ画面右、「しながわこどもの俳句」バナーに、その成果を納めてあります。子供たちの瑞々しい感性を、どうぞ味わってみてください。実は当ホームページでトップのアクセスを誇る、人気コーナーです。

